

輪之内町立仁木小学校

活動の種類 (複数回答可)	健康・安全 奉仕 国際理解・親善 その他 (福祉・体験活動))
活動の単位	全校 学年 委員会 クラブ その他 ()
教育課程上の 主な位置づけ	教科 道徳 特別活動 総合的な学習 児童会・生徒会活動 委員会・部活動 学校行事 その他 ()

1. 活動テーマ

アイガモを使った米作り、福祉体験活動など、様々な人とかかわる活動を通して、思いやりの気持ちをもって接する態度を養う。

2. 学校紹介

本校区は、安八郡の最南端にあり、東と南は大樽川を隔てて海津市に接し、西は揖斐川を挟んで養老町と接している。また、この地は、木曾三川の三角州に発達し、海拔わずか、2m91cmの低地で、昔から水との戦いを続けてきた輪中地帯である。

児童一人一人の能力や可能性を伸ばし、知・徳・体の調和を図り、人間性豊かで創造力と実行力のあるたくましい児童の育成に努めている。「しっとりとしていて 勢いのある学校」にしたいと考えている。

3. 活動内容

(1) アイガモ米づくり (体験活動) 5年生

地域の方から田んぼを借りて、5年生の児童がアイガモ米づくりを行っている。「環境のことを考え、安全・安心なお米を作りたい」という願いのもと、ボランティアティーチャーの協力を得て、田植え、刈り取り、脱穀など、児童中心に活動が進められた。「いなほ祭り」には、5年生児童と保護者によって、おにぎりとして地域の人たちや全校児童に振る舞われた。



(2) 福祉体験活動（6年生）

①高齢者疑似体験

高齢者の方や障がいのある方についてよく知るために、道具を使っての模擬体験学習を行った。手足におもりをつけ、サポーターで手足が思うように動かない状態でろうかや階段を歩いたり、ヘッドホンやアイマスクをつけ、耳が聞こえない、目が見えない状態で日常のいろいろな動作を行ったりしてその大変さを体験した。

②デイサービスセンター訪問

介護施設訪問にあたって、高齢者疑似体験をしたり、祖父母に聞き取りをしたりして、高齢者の立場に立つてふれあうために自分たちができることを話し合い、交流の計画をして訪問しようと考えた。

1回目の訪問では、「高齢者の方に笑顔になってもらう」という目標をもとに、カルタとり、玉入れ、輪投げ、折り紙など、自分たちで考えて計画した遊びをした。高齢者の方にはとても喜んでいただけたが、まだ児童に恥ずかしさがあり、接し方について課題が残った。そこで、次に、施設職員の方をゲストティーチャーとして招き、高齢者の方に笑顔になってもらうために、どのように接するとよいかについて話をしていただいた。児童は、自分たちの笑顔を大切にしながら、高齢者の方のために少しでもできることをしようという気持ちを持って、2回目の計画をして訪問した。

耳の遠いお年寄りの方との接し方、同じ目線で話すことなど、たくさんのことを学び2回目は、自信をもって交流できた。また、1回目以上に相手の立場に立った楽しい交流ができた。



ここがポイント	地域の施設の協力を得ながら、高齢者理解を深め、体験を通して、思いやりの気持ちを育てている。自分たちで育てたお米でおにぎりを作り、全校児童や保護者の方に食べてもらい、喜んでもらうことができた。
ここがねらい	体験を通して高齢者理解を深め、自分には何ができるか考える。半年間米作り作業に取り組むことを通して、自分たちが育て、収穫したお米に誇りをもつことができた。
効 果	外部講師の話や体験活動を通して、高齢者理解を深め、相手の立場に立った交流をして、人との関わり方を学ぶことができた。また、米作りの作業を通して、一緒に作業に携わってくださった方に感謝の気持ちを育むことができた。
学校等のコメント	高齢者の方とかかわることを通して、様々な立場の人と共に生きていこうとする態度を養ったり、自分の生き方を考えたりすることができた。 地域の方に教えてもらいながら米作り活動に取り組むことを通して、作業の大変さに気づき、収穫する喜びを味わうことができた。

担当者氏名：教諭 田渡 達久